

平成30年度第1回平塚市美術館協議会次第

平成30年(2018年)11月 7日(水)

場 所 平塚市美術館研修室

時 間 午後2時から

1. 開会

2. 社会教育部長あいさつ

3. 委員紹介

4. 職員紹介

5. 議題

(1) 平成30年度事業について

①これまでの事業報告

- 作品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- 施設利用者等の統計・・・・・・・・・・・・・・ P 14

②今後の事業予定

- 展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16
- 教育普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20
- その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 22

(2) その他

6. 閉会

平塚市美術館協議会委員名簿

(平成29年8月1日～平成31年7月31日)

	氏名	選出分野
会長	ミズサワ ツトム 水沢 勉	学識経験者
副会長	ヨシムラ マサユキ 吉村 維元	学識経験者 (大学交流)
委員	セタカ シンイチロウ 瀬高 真一郎	学校教育関係者 (県立学校長会議平塚秦野地区会)
委員	ハヤシ タカユキ 林 孝之	学校教育関係者 (平塚市立中学校長会)
委員	ナリシゲ チエコ 成重 千恵子	学校教育関係者 (平塚市立小学校長会)
委員	ウチダ ナオコ 内田 尚子	社会教育関係者 (平塚美術家協会)
委員	イワサキ ユキコ 岩崎 由紀子	社会教育関係者 (公益財団法人平塚市まちづくり財団)
委員	アオキ トモアキ 青木 智明	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (市民公募委員)

平成 30 年度 第 1 回協議会資料 目次

平成 30 年度 事業報告.....	1
作品	1
(1) 展示.....	1
(2) 貸出.....	1
展覧会	2
(1) 企画展 21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから 奈良美智まで	2
(2) 企画展 岡村桂三郎展 - 異境へ.....	4
(3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋.....	6
(4) 特集展 夏の所蔵品展 いきもの図鑑.....	8
教育普及.....	9
(1) 平成 30 年度実施プログラム.....	9
(2) スクールプログラム	10
(3) 対話による美術鑑賞事業 (ボランティア育成)	11
(4) アートカードの貸出	11
その他の事業.....	12
(1) 事業.....	12
(2) 団体向け研修・体験プログラム.....	12
(3) 博物館実習生及び職場体験	13
(4) 定例会議.....	13
(5) その他	13
施設利用者等の統計.....	14
平成 30 年 9 月末現在	14
(1) 展覧会	14
(2) 貸出施設.....	14
施設の管理	15
平成 30 年度 事業予定.....	16
展覧会	16
(1) 特集展 秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 特集展示:2017 新収蔵作品	16
(2) 企画展 小倉遊亀展	17
(3) 特集展 5 感 + 1 つの感性 絵を見ておしゃべりしよう!	18
(4) 特集展 ロビー展 土田泰子展 導 ~ Where's a will, there's a way.....	19
教育普及.....	20
その他の事業.....	22

平成 30 年度 事業報告

作品

(1) 展示

当館展覧会において下表のとおり、338 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	21 世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで	72 点	0 点	72 点
2	企画展	岡村桂三郎展 - 異境へ	31 点	0 点	31 点
3	企画展	金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋	182 点	0 点	182 点
4	特集展	夏の所蔵品展 いきもの図鑑	53 点	53 点	0 点
計			338 点	53 点	285 点

(2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 14 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	台湾国立美術館	「A Brief History of the Future」 3 月 24 日～6 月 3 日	1 点	石田徹也「コンビニエンスストアの母子像」(寄託作品)
2	弘前市立博物館	「花とサムライ」 4 月 14 日～5 月 20 日	1 点	工藤甲人「相」
3	豊橋市美術博物館、 ふくやま美術館	「岸田劉生展」 7 月 21 日～9 月 2 日、 9 月 15 日～11 月 4 日	6 点	岸田劉生「自画像」「石垣ある道」「A の肖像」岸田劉生「新富座」「調脂弄粉」「大連風景」(寄託作品)
4	熊本県立美術館	「永青文庫展示室開設 10 周年 記念特別展 細川ガラシャ」 8 月 4 日～9 月 24 日	1 点	北沢映月「女人記」
5	真鶴町立中川一政 美術館	「開館 30 周年記念展 中川一政美術館の軌跡」 9 月 19 日～12 月 23 日	5 点	岸田劉生「F 氏像」、萬鉄五郎「静物」、 山本鼎「国府津海岸より箱根連峰を望む」、 中川一政「椅子の女」、木村莊八 「くもり日の新緑」(寄託作品)
計			14 点	

展覧会

(1) 企画展 21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで

種 別	企画展
会 期	4月21日(土)~6月17日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	タグチ・アートコレクション
協 力	湘南造園(株)
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 4月30日(月・振休)は開館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	51日
観覧者数	7,780人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



ジョナサン・モンク《アフター・スプラッシュ》2006年



マシュー・パーニー《Ms.グッドバイ》1995年

内容

タグチ・アートコレクションは、実業家の田口弘氏が収集した国内有数の現代美術コレクションです。400点を超えるコレクションは、出身地もさまざま、グローバルに活躍する作家たちの作品からなり、いまの美術の動向を一望することができます。本展では、コレクションの中から、2000年代に制作された作品を中心に、現代の美術作品を紹介しました。

現代の美術の特徴のひとつに、作品の中に「美術とは何か」という自己言及性を抱えていることが挙げられます。アンディ・ウォーホルのように広告やアニメーションのイメージを取り込んだり、あるいは、過去の巨匠の作品を引用したりしながら、「私の考える美術」を提示しています。

また、ものをつくるという行為は、作家の体そのものから発する内的なものだという考え方もあります。民族やジェンダーを主題にした作品や、映像作品にみられる物語性を取り入れた作品は「私はなぜ私であるのか」を見る人に問いかけてきます。

どのような作品であれ、作家のアイデアは独創的で、ユーモアと機知に富んでいます。作品を見て、おかしくて笑ってしまったり、はっと気付かされたり、深く考えさせられたりしながら、美術館でアート体験をお楽しみいただきました。

関連事業

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：5月12日(土)、6月3日(日) 各回 14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計 82 人(35 人、47 人)

モームと L PACK.

日時：5月19日(土) 13:00～16:30

場所：前庭

参加者数：47 人

(2) 企画展 岡村桂三郎展 - 異境へ

種 別	企画展
会 期	4月21日(土)~6月24日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人 ハーモニック伊藤財団
開館時間	9:30~17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 4月30日(月・振休)は開館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	57日
観覧者数	8,531人
担 当	土方明司(当館館長代理)、家田奈穂(当館学芸員)



岡村桂三郎《百眼の魚 18-1》2018年 作家蔵



岡村桂三郎《南冥の鳥 12-1》2012年 作家蔵

内容

岡村(1958生)は、20代で山種美術館賞優秀賞を受賞するなど早くから頭角を現し、注目されてきました。その独特な造形は、パーナーで焦がした巨大な杉板に方解末を塗り重ね、木炭でモチーフの形をとり、その中をスクレーパーでうろこ状に線刻するという特異な手法により生み出されています。こうした造形行為によって、従来の日本画にはない物質感や重厚な存在感を獲得した岡村は、2004年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2008年第4回東山魁夷記念日経日本画大賞、2012年第18回MOA岡田茂吉賞MOA美術館賞を受賞するなど、現代の美術界をけん引する気鋭の作家として活躍しています。

屏風状に連ねた巨大な杉板のパネルに描かれるのは、象や鳥、巨大な魚のほか、龍や迦楼羅などの想像上の生き物で、不思議なうごめきを感じさせるその形態は、圧倒的な生命感をもって観る者に迫ります。こうしたイメージを生み出す岡村は、人間の営みや風土に根差した体験、感覚を大切にすることで、自然と人間の接点に美術や宗教が存在するという考えに至り、自然界がもつ生命力や、その形態のゆたかさに着想を得て、制作に注力しています。

本展は、2008年に神奈川県立近代美術館で開催された個展以来、県内では10年振りとなる大規模な個展で、充実した活動をみせる岡村桂三郎の、今回の個展のために制作された新作のほか、岡村の画業の変遷を確認できる旧作・近作を含む31点を紹介しました。自然と人間との交感を想起させる世界観をお楽しみいただきました。

関連事業

アーティストトーク

日時：4月21日(土)、4月22日(日)、5月13日(日)、6月10日(日) 各回 14:00～15:00

場所：展示室

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授) 申込不要、要観覧券

参加者数：計240人(50人、40人、50人、100人)

アーティストトーク 美術館で洞くつ探検

会場内の照明を消し、懐中電灯を持って作家と一緒に展示室を巡りました。

日時：5月12日(土) 16:00～16:30

場所：展示室

対象：小学生～一般(小学生は要保護者同伴)

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授) 要申込、大学生以上は要観覧券

参加者数：31人

作家によるワークショップ うちわに絵を描こう!!

日時：6月9日(土) 13:00～16:00

場所：アトリエB

講師：岡村桂三郎(多摩美術大学教授)

対象：小学生～一般(小学3年生以下は要保護者同伴) 要申込

参加者数：13人

(3) 企画展 金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋

種別	企画展
会期	7月7日(土)～9月2日(日)
主催	平塚市美術館
協賛	ターナー色彩(株)、神奈川中央交通(株)
出品協力	(株)そごう・西武
制作協力	NHK プラネット中部
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月4日(土)～8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休館日	月曜日 7月16日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観覧料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	66,372人
担当	土方明司(当館館長代理)、石丸郁乃(当館嘱託員)



深堀隆介《金魚酒 伽琳》2016年



深堀隆介《須磨》2016年

内容

金魚の持つ神秘性に魅了され、創作を続ける深堀隆介(1973年愛知県名古屋市生、横浜市在住)は、透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという独自の斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家です。

1995年愛知県立芸術大学を卒業し、名古屋のディスプレイ会社に勤務するも1999年に退職、本格的に創作活動を開始し、絵画と立体を並行してさまざまな作品を制作します。しかし、次第に自分が何をすべきかを悩み、自信を失いかけていた頃、金魚を描くきっかけとなった転機が訪れます。それは7年間放置していた水槽で生き続ける金魚の存在に気づき、その美しさに制作意欲をかきたてられたこと。金魚に救われたというこの出来事を「金魚救い」と呼び、その後、金魚に自分を重ね、表現を追究してきました。

極めて独創的な深堀の技法は、器の中に樹脂を流し込み、その表面にアクリル絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらにその上から樹脂を重ねます。その作業を繰り返すことにより、絵が重なり合い、まるで生きているかのような金魚が表現され、圧倒的な立体感をもって観るものに迫ります。その生き生きとしたリアリティは平面である絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画と言えるでしょう。こうした一連の金魚作品によって、今や国内はもとより世界的に高い評価を受けています。また、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げています。

本展では、初期の立体作品から初公開となる新作インスタレーション《平成しんちう屋》を含む約200点により、深堀隆介の世界を紹介する本格的な個展となりました。絵画でありながら立体的な躍動感にあふれ、不思議な美しさを湛えた深堀金魚を存分にお楽しみいただきました。

関連事業

ライブペインティング

日時：7月7日(土) 14:00～15:00

場所：テーマホール 申込不要

参加者数：250人

作家によるワークショップ「金魚水墨館 - 金魚を描いて泳がせよう！」

日時：7月21日(土) 10:00～12:00

場所：テーマホール

対象：小学生～一般

参加者数：19人

講演会

日時：7月21日(土) 14:00～15:30

場所：テーマホール 申込不要、無料、先着150人

講師：深堀隆介(美術家)

参加者数：150人

公開制作

日時：7月29日(日) 14:00～16:00

場所：テーマホール(展示室 前付近) 申込不要、無料

参加者数：100人

作家によるワークショップ「ジェルキャンドルに金魚を泳がせよう！」

日時：8月11日(土・祝) 10:00～13:00

場所：アトリエB

対象：親子(小・中学生)

参加者数：10組20人

アーティストトーク

日時：8月11日(土・祝) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール 申込不要、無料、先着150人

参加者数：150人

みんなで選ぼうお気に入りの作品!!ひらつか子ども審査員賞

投票期間：7月7日(土)～8月9日(木)

発表期間：8月14日(火)～9月2日(日)

対象：本展来場の中学生までの子ども

参加者数：1,187人

夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐるう！折り紙ラリー

期間：7月7日(土)～8月28日(火)

参加者数：8,400人

(4) 特集展 夏の所蔵品展 いきもの図鑑

種 別	特集展
会 期	7月7日(土)～9月2日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) 8月4日(土)～8月19日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 7月16日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
観覧者数	51,336人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



工藤甲人《愉しき仲間(二)》1951年 当館蔵



岡本秋暉《月下双鹿図》 当館寄託
(公益財団法人滴水軒記念文化振興財団蔵)

内容

このたび、平塚市美術館では「夏の所蔵品展 いきもの図鑑」を開催しました。

わたしたちは、はるか昔から、いきものと深くかかわりながら生活してきました。美術全集をひもとけば、いちばん始めにフランスのラスコー洞窟やスペインのアルタミラ洞窟の壁画が紹介されています。そこにはいきいきとした動物の姿が描き出されており、人間が古来より動物に関心を寄せてきたことが分かります。以降、洋の東西を問わず、いきものは創作者のインスピレーションの源であり続け、多くの造形表現がなされてきました。

本展は、金魚をモチーフとする深堀隆介展との同時開催を受けて、当館が所蔵する作品の中から、いきものを描いた絵画や彫刻作品を紹介しました。19～20世紀の作家たちのいきものを見つめるまなざしの多様性や自然界と人とのさまざまなかかわりに思いをはせていただければ幸いです。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：7月15日(日)、8月5日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

参加者数：計20人(10人、10人)

教育普及

(1) 平成30年度実施プログラム

14プログラムを実施 参加者数：1,113人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	遊んでのびのび赤ちゃんアート春 (連続講座)	富田めぐみ	4月26日(木) 5月10日(木) 6月7日(木)	500円	親子(1歳~2歳3ヶ月の未就園児)	25組 54人
2	岡村桂三郎展関連事業 美術館で、洞くつ探検	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	5月12日(土)	なし	小学生~一般(小学生は要保護者同伴)	31人
3	タグチ・アートコレクション展関連事業 モームとL PACK.	ミヤギフトシ、L PACK.	5月19日(土)	500円、 1,000円	一般	47人
4	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月20日(日)	なし	小・中学生	14人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	滝波重人、河野孝博(東海大学教授)	6月3日(日)	500円	中学生~一般	16人
6	うちわに絵を描こう!	岡村桂三郎(多摩美術大学教授)	6月9日(土)	3,000円	小学生~一般	13人
7	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	7月1日(日)	600円	親子(小・中学生)	7組 15人
8	遊んでのびのび赤ちゃんアート夏 (連続講座)	富田めぐみ	7月5日(木) 8月2日(木) 9月6日(木)	500円	親子(1歳~2歳3ヶ月の未就園児)	25組 58人
7	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ~お魚塗り絵で遊ぼう~	福山恵美子(アートセラピスト)	7月7日(土)	200円	親子(小・中学生)	6組 12人
8	深堀隆介展関連事業 金魚水墨館 金魚を描いて泳がせよう!	深堀隆介(美術家)	7月21日(土)	500円	小学生~一般	19人
9	作ってあそぼうわくわくランド	市内保育士6名	7月28日(土)	なし	親子(0歳~6歳の未就園児)	44組 112人
10	中高生ボランティアとオリジナルグッズを作ろう!!	中学生高校生ボランティア21名	8月3日(金) ~5日(日)	50円	3歳~一般	552人
11	深堀隆介展関連事業 ジェルキャンドルに金魚を描こう!	深堀隆介(美術家)	8月11日(土)	800円	親子(小・中学生)	10組 20人
12	作ってあそぼうわくわくランド	市内保育士5名	8月18日(土)	なし	親子(0歳~6歳の未就園児)	46組 118人
13	体験アートセラピー 大人のための「心をほぐす」パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	10月6日(土)	300円	中学生~一般	17人
14	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう 秋	吉村維元、仙谷朋子(東海大学芸術学科の先生)	10月13日(土)	500円	中学生~一般	15人

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(2) スクールプログラム

23 プログラムを実施 参加者数：324 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

●児童・生徒向けプログラム 17 プログラムを実施 参加者数：247 人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	「タグチ・アートコレクション展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月9日(水)	平塚市立旭陵中学校 特別支援級の生徒・引率教員	13人
2	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月11日(金)	神奈川県立藤沢清流高校の生徒・引率教員	8人
3	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月29日(火)	神奈川県立えびな支援学校の生徒・引率教員	6人
4	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	5月30日(水)	星槎国際高校の生徒・引率教員	12人
5	「タグチ・アートコレクション展」 「岡村桂三郎展」観覧・レクチャー	当館学芸員	6月20日(水)	星槎国際高校の生徒・引率教員	11人
6	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月10日(火)	神奈川県立湘南養護学校の生徒・引率教員	31人
7	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月12日(木)	厚木市立相川小学校の児童・引率教員	35人
8	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月19日(木)	平塚市立松原小学校の児童・引率教員	9人
9	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月25日(水)	厚木市立林中学校の生徒・引率教員	10人
10	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	7月26日(木)	神奈川県立平塚ろう学校の生徒・引率教員	10人
11	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月27日(金)	平塚市立浜岳中学校の生徒・引率教員	20人
12	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月27日(金)	中井町立中井中学校生徒・引率教員	18人
13	中学・高校生のワークショップ ボランティア	当館嘱託員	8月1日(水)、8月3日(金)~5日(日)	中学・高校生	22人
14	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	8月7日(火)	藤沢市立湘南台中学校の生徒・引率教員	16人
15	「深堀隆介展」観覧・レクチャー、 バックヤードツアー	当館嘱託員	8月16日(木)	鎌倉市立腰越中学校の生徒・引率教員	9人
16	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	8月21日(火)	寒川町立寒川中学校の生徒・引率教員	6人
17	バックヤードツアー	当館学芸員	8月29日(水)	神奈川県立茅ヶ崎養護学校の生徒・引率教員	11人

教員向けプログラム 5 プログラムを実施 参加者数：56 人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞広場 (タグチ・アートコレクション展)	当館嘱託員・学芸員	5月6日(日)	小・中・高・特別支援学校の教職員	4人
2	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	当館嘱託員	7月24日(火)	伊勢原市小学校教育研究会	19人
3	社会体験研修の受け入れ	当館嘱託員	8月1日(水)~5日(日)	平塚市内の5年・10年経験者研修の教員	3人
4	先生のための美術鑑賞広場 (深堀隆介展)	当館嘱託員	8月8日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	9人
5	先生向け体験ワークショップ 「段ボールで名刺入れをつくる」	島津冬樹(アーティスト)	8月9日(木)	小・中・高・特別支援学校の教職員	21人

保育園鑑賞ツアー 1 プログラムを実施 参加者数：21 人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	保育園鑑賞ツアー(若草保育園)	富田めぐみ	10月18日(木)	若草保育園年長組の園児と引率保育士	21人

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(3) 対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

市内小学校で実施する「対話による美術鑑賞」事業の為、ボランティア育成のための研修を実施しました。20プログラムを実施 参加者数：199人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)

NO	研修名	講師	実施日	参加者数
1	自主研修(1~3期)	当館嘱託員	4月11日(水)	10人
2	追加自主研修(1~3期)	当館嘱託員	4月18日(水)	11人
3	実践研修(1~3期)	三ツ木紀英、白山祐子(ARDA)	4月25日(水)	11人
4	自主研修(1~3期)	当館嘱託員	5月8日(火)	9人
5	実践研修(1~3期)	三ツ木紀英(ARDA)	5月19日(土)	7人
6	体験会1回目	当館嘱託員	5月20日(日)	9人
7	自主研修(1~3期)	当館嘱託員	5月23日(水)	7人
8	体験会2回目	当館嘱託員	5月30日(水)	7人
9	実践研修(1~3期)	三ツ木紀英(ARDA)	6月2日(土)	7人
10	体験会3回目	当館嘱託員	6月6日(水)	11人
11	体験会4回目	当館嘱託員	6月16日(土)	5人
12	自主研修(1~3期)	当館嘱託員	6月20日(水)	7人
13	実践研修(1~3期)	三ツ木紀英(ARDA)	7月4日(水)	9人
14	自主研修(1~3期)	当館嘱託員	7月25日(水)	7人
15	交流会(1~4期)	当館嘱託員	8月22日(水)	21人
16	アートカード研修(1~3期)	桑原和美(ARDA)	9月12日(水)	12人
17	基礎研修1回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月15日(土)	13人
18	基礎研修2回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	9月22日(土)	13人
19	実践研修1回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月2日(火)	11人
20	実践研修2回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	10月16日(火)	12人

中学生を対象に対話による美術鑑賞(事前事業のみ)を実施しました。

1校5クラス実施 参加者数：196人

NO	学校名	講師	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	平塚市立大野中学校	ひらびあーつま~れ22名	9月26日(水)、27日(木)	1年	5クラス	196人

夏休みに期間限定で一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

5プログラムを実施 参加者数：79人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加者数
1	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館1回目	ひらびあーつま~れ11名	7月24日(火)	13人
2	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館2回目	ひらびあーつま~れ14名	7月31日(火)	32人
3	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館3回目	ひらびあーつま~れ10名	8月7日(火)	13人
4	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館4回目	ひらびあーつま~れ18名	8月14日(火)	11人
5	絵を見て発見!夏のおしゃべり美術館5回目	ひらびあーつま~れ12名	8月21日(火)	10人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。貸出実績：1件6セット

その他の事業

(1) 事業

七夕飾り

会期：7月1日(日)～7月17日(火)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールづくり」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓(ワークショップ講師、美術家)

場所：テーマホール 自由観覧



(2) 団体向け研修・体験プログラム

12プログラムを実施 参加者数：328人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
1	平塚市立松原公民館	「タグチ・アートコレクション展」 観覧・レクチャー	5月18日(金)	34人
2	平塚市立大神公民館	「タグチ・アートコレクション展」 観覧・レクチャー	5月25日(金)	7人
3	中井町民生委員児童委員協議会	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	7月10日(火)	20人
4	平塚市東ブロック公民館	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	7月18日(水)	53人
5	伊勢原市小学校教育研究所	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	7月24日(火)	19人
6	サンシティ神奈川	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	7月26日(木)	15人
7	平塚市北ブロック公民館	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	8月17日(金)	37人
8	平塚市西ブロック公民館	「深堀隆介展」観覧・レクチャー	8月29日(水)	35人
9	横須賀美術協会	「秋の所蔵品展」観覧・レクチャー	9月19日(水)	48人
10	NHK 講座「大人時間の美術館めぐり」	「秋の所蔵品展」観覧・レクチャー	9月21日(金)	5人
11	平塚市金目公民館	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	10月11日(木)	30人
12	NHK 文化センター	「小倉遊亀展」観覧・レクチャー	10月12日(金)	25人

(3) 博物館実習生及び職場体験

博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生 7 人(7 大学)を受け入れ、6 月から 12 月まで実習を実施しました。

職場体験の受け入れ

市内の中학생、高校生等が現場で仕事を実際に体験することで、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択に繋がるよう、職場体験の受け入れを実施しました。

NO	学校	内容	実施日	参加者数
1	平塚市立八幡小学校	館の概要講義及び施設見学	10 月 2 日(火)	4 人

(4) 定例会議

美術館協議会

委員(敬称略)8 名

水沢勉(学識経験者)、吉村維元(学識経験者)、瀬高真一郎(学校教育関係者)、林孝之(学校教育関係者)、成重千恵子(学校教育関係者)、内田尚子(社会教育関係者)、岩崎由紀子(社会教育関係者)、青木智明(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第 1 回 平成 30 年 11 月 7 日(水) 平成 30 年度事業報告及び事業予定について

第 2 回 平成 31 年 3 月開催予定 平成 30 年度事業報告、平成 31 年度事業計画(案)について

美術品選定評価委員会

委員(敬称略)5 名

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)、原田光(学識経験者)

開催日：平成 30 年 12 月開催予定

(5) その他

企画展「金魚絵師 深堀隆介展 平成しんちう屋」で、午後 6 時までの開館延長と親子割引を実施しました。開館延長時間中の観覧者数は 509 人、親子割引の利用者は 9,428 人でした。

施設利用者等の統計

平成 30 年 9 月末現在

(1) 展覧会

観覧者数

月	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	2,132人	-	2,132人
5月	27日	7,372人	-	7,372人
6月	26日	6,807人	-	6,807人
7月	26日	16,633人	13,453人	30,086人
8月	27日	42,429人	32,934人	75,363人
9月	27日	7,310人	5,575人	12,885人
計	159日	82,683人	51,962	134,645人

学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	2校	20人	5人	2人	11人	4人
	市外	8校	122人	15人	2人	51人	5人
中学校	市内	4校	39人	9人	3人	31人	4人
	市外	15校	221人	26人	13人	207人	23人
高等学校		15校	145人	42人	6人	64人	19人
計		44校	547人	97人	26人	364人	55人

(2) 貸出施設

市民アートギャラリー

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	24日	7団体	3,262人
5月	30日	7団体	4,401人
6月	24日	7団体	3,936人
7月	30日	7団体	6,176人
8月	24日	5団体	10,033人
9月	25日	7団体	3,613人
計	157日	40団体	31,421人

アトリエ

月	利用日数	団体数	利用者数
4月	1日	1団体	7人
5月	3日	3団体	87人
6月	6日	6団体	242人
7月	3日	3団体	30人
8月	4日	4団体	101人
9月	4日	4団体	35人
計	21日	21団体	502人

ミュージアムホール

月	利用日数	団体数	利用者数
4月	8日	8団体	523人
5月	1日	1団体	40人
6月	4日	4団体	305人
7月	3日	3団体	102人
8月	1日	1団体	89人
9月	7日	7団体	369人
計	24日	24団体	1,428人

施設の管理

防災訓練

実施日時：6月1日(金) 9:00～9:30

内容

- ・全国瞬時警報システム(緊急地震速報)配信時の対応
- ・大地震発生時の対応
- ・火災発生時の対応(通報・初期消火・避難誘導)
- ・津波避難行動訓練
- ・水消火器での消火訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定：全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が配信され、その後大地震が発生する。地震の影響で、市民アートギャラリーA控室から火災が発生し、火災報知機が火災を感知する。設備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

平成 30 年度 事業予定

展覧会

(1) 特集展 秋の所蔵品展 Lines(ラインズ)線をめぐる表現 特集展示:2017 新収蔵作品

種 別	特集展
会 期	9月15日(土)～11月25日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 9月24日(月・振休)及び10月8日(月・祝)は開館、10月9日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
担 当	江口恒明(当館学芸員)



菅野陽《夜明け》1952年



林敬二《蔭が伸びて...》1971年

内容

線描による絵画は、先史時代の人類に始まりを見出すことができます。当時の人々の記憶の中にある狩りのイメージを描いた洞窟壁画は、迫真的で見る人の感性を揺さぶるものです。

洞窟壁画やデッサンのように、必ずしも写実的とはいえませんが、的確に対象を捉えていると感じるのはどうしてでしょうか。本展では、当館所蔵作品の中から、線をめぐるさまざまな表現を展示し、画面の中で線がどのような役割を果たしているか探っていきます。

はじめに、線描を中心に据えた作品を紹介します。人物の輪郭が絵の中の空間を分割したり、一見すると抽象的な線の集合が形を与えていたりします。次に、自然や人間がつくった線を描いた作品を見ます。植物の幹や根は系統図やらせん構造をなし、人が歩いてできた道は時間的な変化も想像させます。最後に、画家が筆の痕跡を強く残している作品を紹介します。筆触があらわす線は、たとえば風や人の存在を暗示することもあります。このような観点から、線をテーマに広がるイメージをじっくりとご鑑賞ください。

また、2017年に新たに収蔵された作品を展示するコーナーを設けてご紹介いたします。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月13日(土)、11月18日(日) 各回14:00～14:30

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(2) 企画展 小倉遊亀展

種 別	企画展
会 期	10月6日(土)～11月18日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	滋賀県立近代美術館
助 成	公益財団法人 朝日新聞文化財団
協 賛	神奈川中央交通(株)
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 10月8日(月・祝)は開館、翌火曜日休館
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	38日
担 当	勝山滋(当館学芸員)、家田奈穂(当館学芸員)



小倉遊亀《径》1966年 東京藝術大学蔵



小倉遊亀《浴女 その一》1938年
東京国立近代美術館蔵

内容

このたび平塚市美術館では「小倉遊亀展」を開催いたします。

小倉遊亀(おぐらゆき、1895 - 2000)は滋賀県大津市に生まれた女性作家です。大磯に住む安田靉彦に師事し、厳しい修養をもととし、アンリ・マティスなど近代絵画の影響を受けた明るく慈愛に満ちた人物画を制作します。長く北鎌倉に住み、その静物画は師の安田靉彦から「北鎌倉の特産品」と賞されるなど高く評価されました。現代的で清新な作品には作家がたどりついた美の本質が表れ、上村松園賞(1954年)、日本芸術院賞(1962年)、文化勲章(1980年)の受章へと結実し、2000年に105歳で没するまで目覚ましい活躍を重ねました。

本展は、2001年に鎌倉芸術館で開催された追悼展以来、県内の美術館では17年ぶりとなる本格的な回顧展で、初期から晩年までの代表作および愛蔵の陶磁器類や挿絵類など約120点によりその気高い画業の高みを紹介します。

関連事業

講演会「小倉遊亀の人と芸術」

講師 当館館長 草薙奈津子

日時：11月10日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール 申込不要、先着150人

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月20日(土)、11月17日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「日本画入門講座」

日時：11月4日(日) 13:00～16:30

対象：小学生～一般(小学3年生以下は要保護者同伴) 要申込

(3) 特集展 5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！

種 別	特集展
会 期	12月8日(土)～2019年2月24日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 12月24日(月)、1月14日(月)、2月11日(月)は開館 年末年始(12月29日(土)～1月3日(木))、1月15日(火)、2月12日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	64日
担 当	勝山滋(当館学芸員)



松尾敏男《北海》1967年



小林保祥《高砂族の生活》1965-70年

内容

所蔵作品による「5感+1つの感性 絵を見ておしゃべりしよう！」展を開催します。

「視覚」「嗅覚」「聴覚」「触覚」「味覚」になぞらえた5つの部屋に加え、第六感の部屋として、想像力を働かせて対話しながら鑑賞していただける部屋を加え、およそ50点の平面、立体作品を展示します。映画界で「The Sixth Sense」がヒットしたのは20年前。第六感の存在を扱って衝撃的なラストを迎えるシナリオでしたが、本展でも感性が刺激されイマジネーションがひろがるような、多彩な作品をどうぞご堪能ください。

関連事業

学芸員によるギャラリートーク

日時：12月15日(土)、1月12日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室 申込不要、要観覧券

(4) 特集展 口ビー展 土田泰子展 導 ~Where's a will, there's a way

種 別	特集展
会 期	12月8日(土)~2019年4月7日(日)
主 催	平塚市美術館
協 力	(株)不二家、(有)湘南消防器具商会、成瀬産業(株)、bangjack.inc、galerieH
開館時間	9:30~17:00
休 館 日	月曜日 12月24日(月)、1月14日(月)、2月11日(月)は開館 年末年始(12月29日(土)~1月3日(木))、1月15日(火)、2月12日(火)
観 覧 料	無料
開催日数	100日
担 当	勝山滋(当館学芸員)



土田泰子《超 BLEND ~push beyond one's limit~》2016年

内容

陽光の降り注ぐ高さ 11 メートルのテーマホールを舞台に、気鋭の現代アーティスト、土田泰子の展覧会を開催します。土田泰子(つちだひろこ、1985年福井県生まれ)は、名古屋芸術大学デザイン学部を卒業ののち、朝日現代クラフト展準グランプリ・阪急百貨店賞や、フランク・ミュラー・アート・グランプリ「求ム。創造の天才。」などに入賞を重ね、幅広く国内外で活躍しています。

土田作品をみて、われわれは3度驚きます。最初は、完璧につくりあげられた美しい造形に。さらに作品の素材が、無数の安全ピンやマドラー、温度計などの日用品であることに自らの常識をくつがえされるような驚きを感じます。3度目に、その素材やサイズ、パーツの個数にいたるまですべてに意味があり作家の深い洞察に基づいていることに驚くことでしょう。

土田作品は「コンセプチュアル・アート」に与すると評されます。アイデアやコンセプトを重視する方向性がそう感じさせるのでしょう。一方その天啓のように浮かぶアイデアの実現には、一つ一つの素材をつむいでいく気の遠くなるような時間と手仕事が必要となります。求道的ともいえる営みが醸すオーラとその芸術世界をご堪能ください。

関連事業

アーティストトーク

講師：土田泰子(現代美術家)

日時：12月8日(土)、1月26日(土)、3月23日(土) 各回 14:00~14:40

場所：テーマホール 申込不要、無料

教育普及

平成 30 年度実施予定プログラム

12 プログラムを実施予定。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師	実施予定日
1	元気にのびのびキッズアート(連続講座)	富田めぐみ	10月4日(木) 11月1日(木) 12月6日(木)
2	ハロウィン仮装作り&ファッションショー	スタジオ・クーカ所属のアーティスト	10月20日(土)
3	小倉遊亀展関連事業 日本画入門講座	黒石千恵子(日本画家)	11月4日(日)
4	銅版画講座 メゾチントでカードをつくる	城戸宏(版画工房主宰)	12月2日(日)
5	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ	12月20日(木)
6	遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬(連続講座)	富田めぐみ	1月10日(木) 2月7日(木) 3月7日(木)
7	銅版画講座 エッチング&アクアチントに 挑戦!(連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月20日(日) 1月27日(日)
8	陶芸講座(連続講座)	百田輝(陶芸家)	2月3日(日) 2月17日(日) 2月24日(日)
9	0才からの鑑賞ツアー	富田めぐみ	2月6日(水)
10	東海大学協働事業 東海大学インターン生によるワークショップ	東海大学芸術学科のインターン生	2月23日(土)
11	バックヤードツアー	当館学芸員	3月3日(日)
12	クスノキで動物を彫ろう!(連続講座)	三沢厚彦(彫刻家)	3月9日(土) 3月10日(日)

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

スクールプログラム

依頼があれば、随時実施しています。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

NO.	講座名	講師	実施予定日
1	保育園鑑賞ツアー(神田保育園)	富田めぐみ	12月21日(金)
2	保育園鑑賞ツアー(夕陽ヶ丘保育園)	富田めぐみ	2月5日(火)
3	保育園鑑賞ツアー(港こども園)	富田めぐみ	2月6日(水)

NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを学校向け教材として無料貸出を行っています。

対話による美術鑑賞事業(ボランティア育成)

担当：江口恒明(当館学芸員)、石丸郁乃(当館嘱託員)、久保田知美(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)
市内小学校を対象とした対話による美術鑑賞事業を実施するため、対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあーつま〜れ)4期生 13名の育成を行っています。

ボランティア育成のための研修会。10プログラムを実施予定。

NO.	研修名	講師名	実施予定日
1	実践研修3回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月10日(土)
2	実践研修4回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月24日(土)
3	アートカード研修1回目(4期)	桑原和美(ARDA)	12月15日(土)
4	アートカード研修2回目(4期)	桑原和美(ARDA)	1月8日(火)
5	実践研修5回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	1月29日(火)
6	自主研修1回目(4期)	当館嘱託員	2月9日(土)
7	実践研修6回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月19日(火)
8	実践研修7回目(4期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月5日(火)
9	合同研修(1~4期)	三ツ木紀英(ARDA)	3月19日(火)
10	自主研修2回目(4期)	当館嘱託員	3月30日(土)

対話による美術鑑賞講座。5校を実施予定。

NO.	学校名	講師名	事前授業予定日	来館予定日	学年	クラス数
1	中原小学校	ひらびあーつま〜れ	10月31日(水)	11月7日(水)	6年	2クラス
2	松原小学校	ひらびあーつま〜れ	12月4日(火)	12月11日(火)	3年	3クラス
3	なでしこ小学校	ひらびあーつま〜れ	1月9日(水)	1月17日(木)	4年	2クラス
4	花水小学校	ひらびあーつま〜れ	1月22日(火)	1月30日(水)	6年	5クラス
			1月24日(木)	1月31日(木)		
			1月25日(金)	2月1日(金)		
5	横内小学校	ひらびあーつま〜れ	2月13日(水)	2月21日(木)	6年	3クラス
			2月15日(金)			

その他の事業

(1) 事業

こども年賀状とおとな絵手紙展

会期：平成31年1月8日(火)～1月14日(月・祝)

主催：平塚市美術館

内容：美術館をより身近に感じてもらうための取り組みとして、こどもを対象とした年賀状と、新春をテーマにした絵手紙を募集します。また、運営をサポートするボランティアスタッフを募集します。

場所：市民アートギャラリーB室

日数：7日間

ミュージアムコンサート

日時：平成31年2月16日(土) 14:00～15:00

主催：平塚市美術館

出演：湘南エールアンサンブル(別名：日野原重明記念管弦楽団)

内容：美術館にふさわしい、楽器の美術品とも言われる弦楽器(弦楽四重奏)の構成で、「色彩あふれる後の情景」をテーマに演奏します。

場所：テーマホール

定員：150人

第41回 平塚市展

会期：平成31年3月10日(日)～3月24日(日)

主催：平塚市教育委員会

内容：地域の芸術文化の高揚と推進を図ることを目的として、昭和53年から開催されている公募展。

場所：展示室、市民アートギャラリー